

## 4割が不当表示

どんな有名人でも最後は老人ホームのお世話になる。

二谷英明さん(享年81)も、03年に脳梗塞で倒れてから有料老人ホームで晩年を過ごした。妻の白川由美(75=写真)もいて、近くには元女優の娘(47)も住んでいたが、在宅介護ではなかった。

全国介護者支援協議会理事長の上原喜光氏がこう言う。

「富裕層でも、これが現実。家族はギブアップしたのだと思います」

東京都の特別養護老人ホームの補助は、石原都知事



## 風俗店より信用できない有料老人ホーム

い業界なのだ。

都が先日、有料老人ホームの案内広告に関する調査結果を公表したが、約4割に景品表示法の不当表示の恐れがあり、計72事業者を指導したという。具体的には、パンフレットに書かれた24時間看護師常駐が虚偽だったり、連携病院先がいまいなかったのだ。

それにしても、4割というのはあきれる。風俗店だって、これほど悪質な店は多くない。

「まともな有料老人ホームは4割ほど。営利企業である有料老人ホームは、入居

率7割以上がペイラインとされ、いきおい誇大広告も目立つ。家族も早く厄介払いしたいので、近所の2、3の施設を見ただけで入居を決める。業者のやりたい放題です」(上原氏)

他県だが、極端な例だと、入所者の手首をベッド柵に縛り付けていた老人ホームもあった。

「必ず体験入居し、夜間見学もすること。24時間態勢をうたうのなら、夜間の訪問を嫌がるホームは怪しい」(上原氏)

繰り返すが、4割のホームは悪質業者なのだ。

になってから5分の1に削減された。

そこで民間の有料老人ホームに頼らざるを得ないわけだが、これがとんでもな